



令和6年7月（通算第139号）
発行：
公益財団法人東京しごと財団
（東京都シルバー人材センター連合）

前号でもお伝えしましたが、昨今の猛暑の影響で、虫の発生時期が延びる傾向にあります。しっかり対策して虫刺されの痒み・痛みから身を守りましょう。



ハチ・チャドクガ以外も… 身近に潜む虫たちにご用心！

「虫刺され」の原因となる主な虫たち



蚊：自然豊かな場所だけでなく、都会、住宅街などどこでも発生。人の血を吸うのは産卵を控えたメスだけ
ノミ：ペットの犬や猫に付着。屋外では土のあるところに多く生息。メスもオスも吸血

吸血する虫



アブ：湖、河川、沼地、森林、田園等の周辺に生息。鋭い口器で皮膚を切り裂き、流れ出る血液を吸う
ブヨ：水のきれいな山地の溪流沿いに生息。ノコギリ状の口で皮膚をかじり、流れ出た血を吸う

触れることで 症状が出る虫



ドクガやチャドクガは幼虫・卵・サナギ・脱皮殻・成虫すべての段階で毒針毛を持っている。毒針毛が皮膚に触れると、赤く腫れあがりかぶれる

刺す虫



ハチ：雨風をしのぎやすい場所や、密閉空間に巣を作る。巣を守るために人を刺す

咬む虫



ムカデ：湿気があり、暗くて狭く、エサがあるところ出現。攻撃性が強く接触した瞬間に咬みつく

予防と対策

- ★ **肌の露出を少なくする**
- ・ 服装は長袖、長ズボンを着用し、袖口は虫の入らないよう締まったものを
- ・ 特に除草作業時は手袋（軍手）・帽子を必ず着用しましょう
- ・ 首にタオルを巻くのも効果的



- 特にハチは
- ・ 香水や整髪料等においの強いものは避けましょう
- ・ 黒っぽい服装は避けましょう

- ★ **虫よけグッズを活用する**
- ・ 虫よけスプレーやシート、蚊取り線香、殺虫剤などを使用する
- ★ **近寄らない**
- ・ 虫がいそうなところには近づかないのが一番ですが、除草作業時などは近くにハチやハチの巣がないか、チャドクガはいないか事前に確認しましょう
- ★ **万一刺されてしまったら…**
- ・ 刺された部位をむやみに触らず、流水で洗うなどして清潔にします。冷やすことでかゆみが抑えられることもあります。
- ・ 意識消失や呼吸困難などアナフィラキシーショックが現れた場合には、ただちに医療機関を受診しましょう